

## 令和5年度自己点検・自己評価の結果概要

### 1 自己点検・自己評価の取り組みの経過

- 平成 24 年自己点検評価をスタートした年は厚労省の示す「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」に基づき大項目9小項目 125 で3段階評価として実施していた。
- 平成 29 年度に評価項目の見直しを行い、本校の実情に合わせ小項目について統合再編し 68 項目3段階評価とした。(大項目は変更していない。)
- 令和2年度には小項目の見直しを行い、(大項目は変更なし9項目)小項目 69 に変更するとともに中心化傾向を避けるために評価段階を3段階から4段階とした。
- 今年度、前回の改正から3年経過し、その間カリキュラム改正があったことや、重複や評価しづらいものがある等の意見を受け再度見直しを図り、大項目8項目、小項目69項目に変更した。

### 2 自己点検評価等により課題とされた事項への主な取り組み

令和4年度の結果を受け、令和5年度は学校の組織目標に以下を組み込んで取り組みを行った。

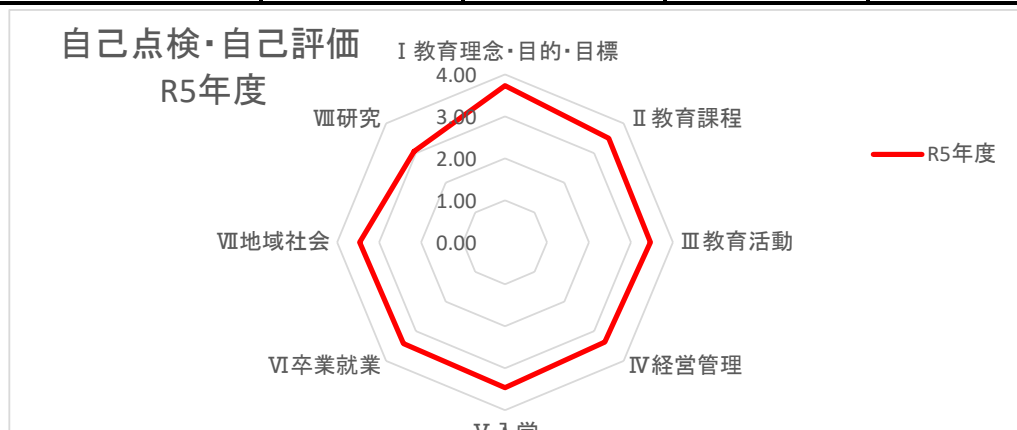
- ① 新カリキュラムを予定どおりに実施し評価する。
- ② 臨地実習における学生の安全教育、安全対策を強化する。
- ③ 業務改善を行い、教員が授業準備・自己研鑽のための時間をとれる体制を作る。
- ④ 学生個々に合わせた学習支援をタイムリーに行う。
- ⑤ 学生の学習方法の多様化と業務改善推進に向けて ICT 活用を促進する。
- ⑥ 教員個々が自己の役割を認識し、チームの中で力を発揮する体制を整える。

### 3 令和5 年度自己点検・自己評価結果

【評価結果】

表1 年度別の評価集計結果

大項目	R5 年度	R4年度	R3 年度	R2 年度
I 教育理念・教育目的	3.73	3.7	3.76	3.18
II 教育目標		3.69	3.71	3.13
III 教育課程	3.50	3.25	3.38	3.06
IV 教育活動	3.46	3.45	3.53	3.46
V 経営管理	3.36	3.35	3.38	3.25
VI 入学	3.46	3.54	3.43	3.47
VII 卒業・就業・進学	3.42	3.20	3.22	3.08
VIII 地域社会	3.47	3.29	3.04	2.81
IX 研究	3.06	2.43	2.33	2.25
全体平均	3.42	3.32	3.31	3.07



- 項目の変更を行ったため、昨年度までの評価と比較はしにくいですが、全体の平均点は昨年度より高値となった。
- 大項目では、全ての項目で3点以上の評価だった。Ⅳ経営管理、Ⅵ卒業・就職・進学、Ⅷ研究は平均点より低かったが、昨年度より上がっている。
- 大項目Ⅰ教育理念・教育目的・教育目標、Ⅱ教育課程はカリキュラム変更にあたり、十分な検討を行ったこと、新カリキュラム2年目を滞りなく実施できたことから高評価となった。今後、カリキュラムの評価を実施していきたい。
- Ⅲ教育活動も高評価となっており、学生からの授業評価等をもとに教育の改善を図ることができており適切な教育活動につながっていると考えます。
- Ⅳ学校経営は平均点より低値であった。ストレスチェックや健康診断は100%実施しているが、職員が多くの業務を余裕をもって行うまでには至っていない。限られた職員数の中で、少しでもより良い教育活動が行えるように業務改善に取り組んでいきたい。職員による事務的なインシデントが発生し、その都度職員全体で振り返りを行った。マニュアルの整備を行い、再発防止に取り組んでいきたい。
- Ⅴ入学は平均点以上ではあったが、年々志望者数が減少しており、専門学校のアドバンテージを活かした広報戦略を立てる必要がある。
- Ⅵ卒業・就職・進学は、平均点を下回ったが、昨年度より評価点は上がっている。国家試験対策等、全教員が一丸となって取り組めるように体制を整えていきたい。
- Ⅶ地域・社会はボランティアを推進したこと、授業で地域との交流の機会を作ったことなどから高評価となった。引き続き、教育活動に地域との交流を取り入れていきたい。
- Ⅷ研究は評価点が低かった。教員の入れ替わりの視野に入れ、キャリアラダーを活用し、レベルに応じた教員育成に取り組んでいきたい。

#### 4 今後に向けて

令和5年度の取り組み及び自己点検・自己評価の結果を受け、令和6年度は次の取り組みを行う。

- ① 授業準備の確保、自己研鑽の時間を確保し、ワークライフバランスを考えた働き方のために業務改善を行う。
- ② キャリアラダーを活用し、教員個々のレベルに応じた育成を推進する。
- ③ 教員個々が自己の役割を認識し、より良い教育活動のためにチームの中で力を発揮する体制づくりを推進する。
- ④ 新カリキュラムを予定どおりに実施し評価する。
- ⑤ 臨地実習における学生の安全教育、安全対策を強化する。

第5次カリキュラム運用3年目に向けて準備を進めている。本校の特徴を活かしながら主体的な学びを推進していきたい。

併せて学校関係者評価においていただいた、多くの貴重なご意見・評価を踏まえ学校運営全般の質の向上を図っていきたい。